

Safe work TOKYO

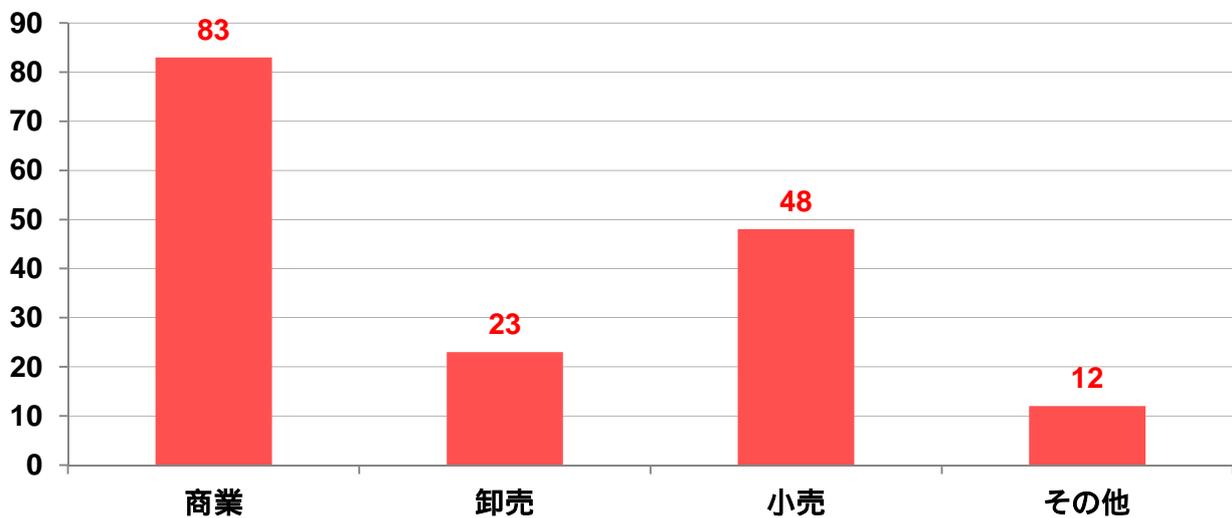
江東版
12次防
推進中 Safe work
TOKYO
3rdstage



小売業

亀戸労働基準監督署

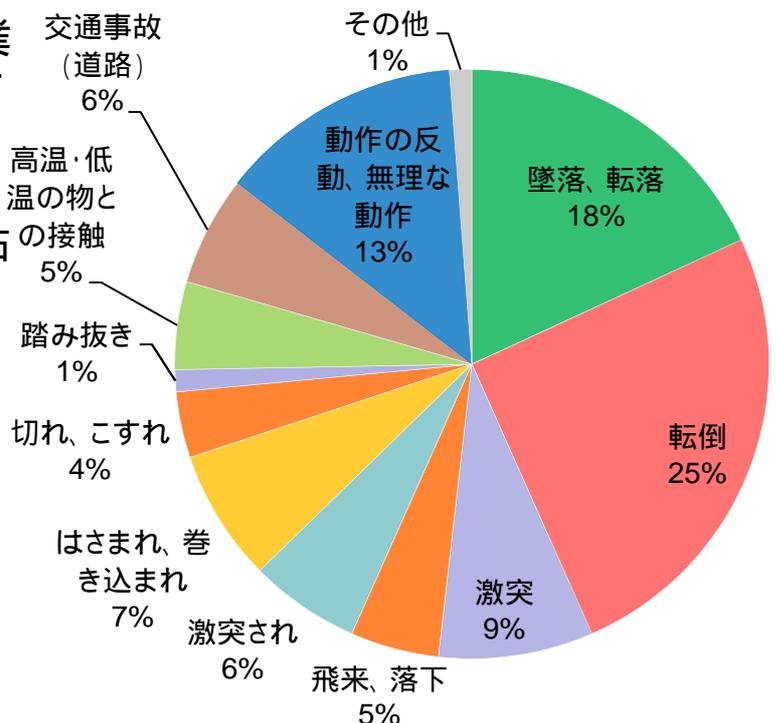
商業労働災害発生状況(平成26年)



商業における事故の型別発生状況

亀戸署管内の平成26年に発生した労働災害は560件のうち商業での83件発生、約15%を占めています。

労働災害の多くは、小売業で発生しており、商業全体の58%を占め、墜落・転落災害、転倒災害、腰痛災害が多発しています。



「墜落・転落、腰痛、転倒災害を防ごう！」

商業の労働災害のうち、事故の型別で全体の約2割を占める転倒災害及び腰痛災害は、一般的に、労働の現場のみならず日常生活においても起こりうるものであることから、労働災害防止に対する意識が事業者、労働者の双方とも希薄になりがちであり、結果として職場の安全意識が醸成されにくい傾向があります。

また、墜落・転落および切れ・こすれなどによる労働災害も多く発生していることを踏まえ以下の点に留意してください。

- 脚立、階段、保管棚等からの墜落・転落災害の防止
- 食品加工用機械等による切れ、はさまれ・巻き込まれ災害の防止
- 通路・作業床等における転倒災害の防止
- 荷の運搬作業等における腰痛の防止
- 包丁等による切れ災害の防止
- 労働災害防止の観点からの健康づくりの推進

マイチェック表

		チェック項目	チェック欄
転倒・転落防止	1	床面、階段及び通路はつまづきや滑りの原因となる凸凹や水漏れ、ごみのない状態である	
	2	商品などを床に直置きしていない	
	3	倉庫内に通路を確保している	
	4	不要な什器など廃棄すべきものを置いていない	
	5	階段には滑り止め、手すりを設置している	
	6	床面、階段及び通路は、通行に十分な明るさが保たれている	
	7	照明器具の清掃を定期的に行っている	
	8	物や台車の置き場をペイントなどにより明示し守らせている	
4S活動	1	「4S活動」を実施している	
	2	「4S活動」は手順を決めて定期的に行っている	
	3	「4S活動」は店長のリーダーシップの元で行っている	
その他の災害防止	1	「リスクアセスメント」を実施している	
	2	職場の安全パトロール巡視を行っている	
	3	朝礼やミーティング等で災害防止の注意喚起を行っている	
	4	安全管理者・衛生管理者・産業医等安全衛生管理体制が構築されている	
腰痛防止	1	荷は出来るだけ身体に近づけ、腰を下ろしてから持ち上げる	
	2	重い荷物は、無理をせずに、複数で運ぶ	
	3	無理な姿勢での長時間作業は行わない	

チェック項目ごとに確認し、実行できたらチェック欄に「」、実行できていなかったら「x」を記入